

## 2) 漏水箇所の補修

ため池において、老朽化等による堤体からの漏水等がみられた場合、遮水シートを設置する等の対策を行うこと。

### 【活動のねらい】

ため池において、老朽化による堤体部分からの漏水などがみられた場合、遮水シートの設置等によって、ため池の堤体の安定性の確保や貯水機能の維持を図ります。



漏水が生じているため池

### 【活動の内容】

#### 2-1) 計画

ため池の堤体から漏水があるかどうか目視にて点検します。点検結果に応じた対策方法を検討します。

ため池の近傍で遮水に適した盛土材料が採れない場合、表面遮水を目的とした遮水シートの設置が考えられます。既設の遮水シートに破損がみられた場合は、補修用シートを接着剤で貼り合わせるなどの補修を行います。遮水シートには、合成ゴム系（EPDM）、合成樹脂系（PVC、TPO）、アスファルト系、ベントナイト系遮水マット等の種類があります。対策方法については、施設管理者や関係機関等と十分に相談し、検討することが大切です。

#### 2-2) 実施

##### ①遮水シート設置の場合

遮水シートをしわ等が発生しないように平滑に取り付けます。隣り合うシートは所定の長さが重なり合うようにします。その接合はシートの種類に応じて接着剤を用いるものや加熱して圧着するもの等があります。作業に当たっては、これらの技術と経験を有する専門家等に協力を依頼することも考えられます。



遮水シートの設置

##### ②遮水シートの補修の場合

遮水シートの損傷部を露出させて、補修箇所の汚れを取り、補修箇所に水が流入しないようにして補修箇所を十分に乾燥させます。使用している遮水シートと同一の素材の補修シートを接合する等の方法により補修します。作業に当たっては、これらの技術と経験を有する専門家等に協力を依頼することも考えられます。

### 2-3) 確認

遮水シートに破損がないかどうか点検します。破損がみられた場合は、破損箇所に新たな遮水シートを貼り付ける等して補修します。

#### 【配慮事項】

- ・作業に当たって道路を占有するときには、事前に関係機関（所轄警察署等）へ相談し、必要な手続きなどを行います。

#### 【漏水箇所の補修】

～活動例～

##### ○遮水シートの補修

##### ・対象施設

ため池

##### ・活動内容

ため池堤体の遮水シートを点検したところ、一部が破れて破損していたため、当該箇所にシートを貼り付けて部分的な補修を行った。

##### ・活動時期

3月

##### ・参加者

水土里ネットの指導のもと、活動組織の農業者5名